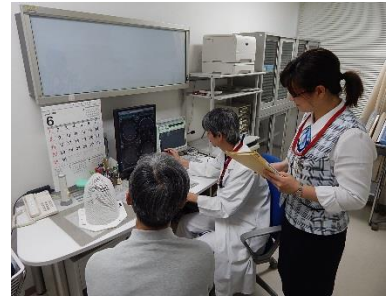


放射線治療の流れ

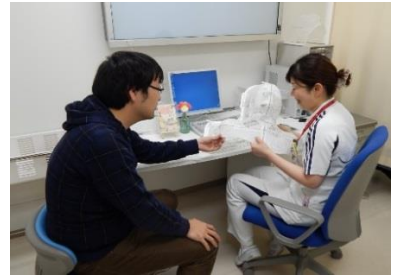
新規患者診察

毎週火・水・木の午前中に放射線治療専門医による診察を行っています。



オリエンテーション

診察後に看護師によって治療までの流れを説明します。その際に患者さんの状態把握（同じ姿勢でしばらく保持できるか、上肢の挙上が可能かどうかなど）や治療に対する不安の軽減に努めています。

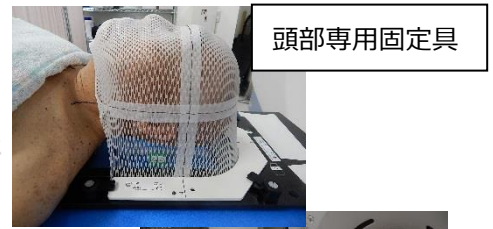


CT シミュレーション

照射部位および照射方法に応じ、位置合わせに用いるために身体に印を付けたり専用の固定具を作成したりします。

体位は保持したまま、出来るだけ動かないようにして頂きます。

通常、息止めの合図は行いませんが、呼吸を合図によって停止させて計画 CT を撮像するときもあります。この CT 画像が治療の基準となりますので、出来るだけリラックスして受けて頂けるように心掛けています。CT 撮像時には皮膚に印を付けますので、治療開始まで消さないように気を付けて頂きます。



治療計画（検証・登録）

CT 画像を治療計画装置に転送し、放射線治療専門医によって治療計画を作成します。

強度変調放射線治療や定位照射などの高精度治療の計画については、計画データを人体を模擬したファントムに移し込み、線量および線量分布の検証を行います。

治療

治療台に CT 撮像時と同じ姿勢で寝てもらいます。病気の位置まで治療台を動かした段階で確認の写真（CBCT/ポータルイメージ等）を撮ります。位置の確認が出来た段階で、身体の皮膚に印を追加する場合があります。治療部位によって異なりますが、初回は治療室への入室から照射を終えて退室するまで概ね 30 分かかります。